

組合員の皆様へ



代表理事組合長 宮脇 眞道

初夏の候、組合員・利用者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この一年間のＪＡ運営に対しまして格段のご理解・ご支援を賜りましたことに心より厚く御礼申し上げます。

令和６年度の営農概況につきましては大きな気象災害等はなかったものの、春先の長雨や夏場の渇水・高温によりまして水稻や生姜、新高梨といった多くの品目に於いて生産が不安定になるなど収量・品質に影響を受けた一年でしたが、販売価格につきましては収量減の単価高といった状況であり、特にコメについては品薄感もあり前年比 170%超となるなど全体的に価格面では「食料・農業農村基本法」の趣旨に沿った適正価格に近づいている感がいたします。

しかしながら、生産に係る資材価格は高止まりの状況のままであり、より一層のコストに見合う価格形成に向けＪＡグループ一丸となり取り組んでまいります。

一方、組合の事業概況につきましては、施設の維持管理や事業に伴う様々な費用価格の上昇や職員の確保と育成、金融部門では日銀のマイナス金利の解除に伴う政策金利の引き上げにより調達利回りの上昇と運用利回りとの期間ギャップが拡大するなど厳しい状況となっています。

また、ゼロ金利時代に収益確保のため購入した超長期国債において多額の評価損が発生し、農協法における出資配当の制限に抵触する状況に至りました。そのため、来期以降の復配に向け評価損の発生している有価証券を売却し、今期の決算においては事業利益・経常利益ともに損失金を計上することとなりました。

このことにより、今総代会において無配当となること、また、損失金の解消に伴う内部留保金の取崩しを付議することに至りましたことを組合員の皆様に深くお詫び申し上げます。

令和７年度以降は、人口減少や若年層の職員確保難といった社会情勢、貯蓄から投資・スマートフォンアプリやキャッシュレスといったデジタル化の進展といった金融・経済情勢の変化に対応すべく新たな「第十二次・燦々運動計画」に基づいた経営戦略を展開し、組合員の暮らしと営農に貢献できるＪＡ高知市を目指してまいります。

従来の考え方や枠組みから将来の在るべき形へと変化するにあたり、皆様にはご迷惑をお掛けすることになろうと思いますが引き続き組合に対しまして変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びにあたり、皆様のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げ、総代会にあたっての挨拶とさせていただきます。

令和７年６月26日